

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2019年11月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第83期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社今仙電機製作所 |
| 【英訳名】 | Imasen Electric Industrial Co., Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長執行役員 櫻井 孝充 |
| 【本店の所在の場所】 | 愛知県犬山市字柿畑1番地 |
| 【電話番号】 | 0568 - 67 - 1211（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 奥田 朋近 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 愛知県犬山市字柿畑1番地 |
| 【電話番号】 | 0568 - 67 - 1211（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員 奥田 朋近 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第82期 第2四半期連結 累計期間 | 第83期 第2四半期連結 累計期間 | 第82期 |
|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自2018年 4月1日 至2018年 9月30日 | 自2019年 4月1日 至2019年 9月30日 | 自2018年 4月1日 至2019年 3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 59,744 | 56,387 | 118,579 |
| 経常利益 (百万円) | 1,701 | 1,390 | 3,691 |
| 親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円) | 1,122 | 815 | 2,474 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 373 | 667 | 589 |
| 純資産額 (百万円) | 50,046 | 51,032 | 50,676 |
| 総資産額 (百万円) | 84,669 | 82,071 | 84,151 |
| 1株当たり四半期(当期)純利 益 (円) | 53.96 | 39.23 | 118.98 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 58.8 | 61.8 | 59.8 |
| 営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円) | 4,066 | 3,411 | 7,628 |
| 投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円) | 1,372 | 798 | 3,625 |
| 財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円) | 1,898 | 2,075 | 3,514 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円) | 11,779 | 11,964 | 11,337 |

| 回次 | 第82期 第2四半期連結 会計期間 | 第83期 第2四半期連結 会計期間 |
|-----------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自2018年 7月1日 至2018年 9月30日 | 自2019年 7月1日 至2019年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 23.26 | 25.93 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより、底堅く推移しました。海外においては、米国では緩やかな回復基調で推移したものの、中国では貿易摩擦の影響などにより減速傾向が見られ、先行き不透明な状況が続いています。

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は56,387百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は1,388百万円（前年同期比18.4%減）、経常利益は1,390百万円（前年同期比18.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は815百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、北米、中国での減産などにより、売上高は54,486百万円（前年同期比5.9%減）となり、営業利益は1,401百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

(b) ワイヤハーネス関連事業

航空機関連の受注が増加したことにより、売上高は1,377百万円（前年同期比3.4%増）、営業損失は12百万円（前年同期は31百万円の損失）となりました。

(c) 福祉機器関連事業

電動車いすの販売が増加したことなどにより、売上高は523百万円（前年同期比3.0%増）、営業損失は6百万円（前年同期は19百万円の損失）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、3,411百万円（前年同期比16.1%減）、投資活動に使用した資金は、798百万円（前年同期比41.8%減）、財務活動の結果減少した資金は、2,075百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は11,964百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,411百万円の増加となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が1,307百万円、減価償却費が2,230百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、798百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が1,596百万円であったものの、定期預金の減少額が867百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,075百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が686百万円、リース債務の返済による支出が652百万円、短期借入金の純減額が340百万円であったことによるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動に係る費用の総額は1,016百万円であります。なお、当該金額には既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれており、「研究開発費等に係る会計基準」(企業会計審議会)に規定する「研究開発費」は140百万円であります。

また、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 49,195,000 |
| 計 | 49,195,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (2019年11月11日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 21,341,152 | 21,341,152 | 東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 21,341,152 | 21,341,152 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 2019年7月1日～ 2019年9月30日 | - | 21,341 | - | 6,297 | - | 6,030 |

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%) |
|---|---|---------------|---|
| 本田技研工業株式会社 | 東京都港区南青山二丁目1番1号 | 1,066 | 5.12 |
| IMASEN取引先持株会 | 愛知県犬山市字柿畑1番地 | 984 | 4.73 |
| 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口) | 東京都港区浜松町二丁目11番3号 | 975 | 4.68 |
| 日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口) | 東京都中央区晴海一丁目8番11号 | 714 | 3.43 |
| テイ・エステック株式会社 | 埼玉県朝霞市栄町3丁目7番27号 | 638 | 3.06 |
| 今仙電機従業員持株会 | 愛知県犬山市字柿畑1番地 | 632 | 3.03 |
| ヤマハ発動機株式会社 | 静岡県磐田市新貝2500番地 | 613 | 2.94 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内二丁目7番1号 | 605 | 2.90 |
| 株式会社第三銀行 | 三重県松阪市京町510番地 | 505 | 2.42 |
| DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク、 エヌ・エイ東京支店 証券業務 部) | PALISADES WEST 6300,BEE CAVE ROAD BUILDING ONE AUSTIN TX 78746 US (東京都新宿区新宿六丁目27番30号) | 465 | 2.23 |
| 計 | - | 7,199 | 34.59 |

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|--------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 529,300 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 20,804,900 | 208,049 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 6,952 | - | 1単元(100株)未満 の株式 |
| 発行済株式総数 | 21,341,152 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 208,049 | - |

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の普通株式9,000株(議決権の数90個)が含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式19株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| (自己保有株式) 株今仙電機製作所 | 愛知県犬山市字柿畑1番地 | 529,300 | - | 529,300 | 2.48 |
| 計 | - | 529,300 | - | 529,300 | 2.48 |

(注) 自己株式は、2019年8月7日に実施した譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分により、18,000株減少しました。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,208 | 12,964 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,990 | 18,911 |
| 電子記録債権 | 6,885 | 6,892 |
| たな卸資産 | 12,097 | 11,611 |
| その他 | 3,133 | 2,517 |
| 貸倒引当金 | 503 | 479 |
| 流動資産合計 | 53,811 | 52,418 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,655 | 7,504 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 6,382 | 6,069 |
| その他(純額) | 10,052 | 9,979 |
| 有形固定資産合計 | 24,091 | 23,554 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 542 | 529 |
| 無形固定資産合計 | 542 | 529 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,000 | 4,768 |
| その他 | 778 | 862 |
| 貸倒引当金 | 71 | 62 |
| 投資その他の資産合計 | 5,707 | 5,568 |
| 固定資産合計 | 30,340 | 29,652 |
| 資産合計 | 84,151 | 82,071 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,158 | 10,523 |
| 電子記録債務 | 6,629 | 6,045 |
| 短期借入金 | 2,510 | 2,521 |
| 未払法人税等 | 423 | 337 |
| 賞与引当金 | 1,202 | 1,210 |
| 製品保証引当金 | 472 | 482 |
| その他 | 6,179 | 5,349 |
| 流動負債合計 | 27,576 | 26,470 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,913 | 833 |
| 退職給付に係る負債 | 2,154 | 2,180 |
| その他 | 1,830 | 1,553 |
| 固定負債合計 | 5,898 | 4,568 |
| 負債合計 | 33,475 | 31,039 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,297 | 6,297 |
| 資本剰余金 | 6,049 | 6,052 |
| 利益剰余金 | 35,478 | 36,029 |
| 自己株式 | 441 | 427 |
| 株主資本合計 | 47,382 | 47,951 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,719 | 1,579 |
| 為替換算調整勘定 | 1,234 | 1,205 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 10 | 9 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,964 | 2,794 |
| 非支配株主持分 | 329 | 286 |
| 純資産合計 | 50,676 | 51,032 |
| 負債純資産合計 | 84,151 | 82,071 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 59,744 | 56,387 |
| 売上原価 | 53,360 | 50,880 |
| 売上総利益 | 6,383 | 5,507 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造運搬費 | 1,535 | 1,315 |
| 給料手当及び賞与 | 1,118 | 1,073 |
| 賞与引当金繰入額 | 184 | 175 |
| 退職給付費用 | 43 | 42 |
| 減価償却費 | 139 | 87 |
| その他 | 1,661 | 1,425 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 4,682 | 4,119 |
| 営業利益 | 1,701 | 1,388 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 72 | 80 |
| 受取配当金 | 76 | 81 |
| その他 | 165 | 157 |
| 営業外収益合計 | 314 | 318 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 190 | 217 |
| 為替差損 | 80 | 70 |
| その他 | 43 | 28 |
| 営業外費用合計 | 314 | 317 |
| 経常利益 | 1,701 | 1,390 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 特別利益合計 | 0 | 0 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 7 | 18 |
| 投資有価証券評価損 | - | 65 |
| 特別損失合計 | 7 | 83 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,694 | 1,307 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 574 | 482 |
| 法人税等調整額 | 43 | 27 |
| 法人税等合計 | 530 | 455 |
| 四半期純利益 | 1,163 | 851 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 41 | 35 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,122 | 815 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,163 | 851 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 136 | 139 |
| 為替換算調整勘定 | 1,400 | 43 |
| 退職給付に係る調整額 | 0 | 0 |
| その他の包括利益合計 | 1,537 | 183 |
| 四半期包括利益 | 373 | 667 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 398 | 646 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 24 | 21 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,694 | 1,307 |
| 減価償却費 | 2,289 | 2,230 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 24 | 8 |
| 受取利息及び受取配当金 | 149 | 161 |
| 支払利息 | 190 | 217 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | - | 65 |
| 固定資産処分損益(は益) | 7 | 17 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 776 | 92 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 281 | 247 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 285 | 32 |
| その他 | 123 | 186 |
| 小計 | 4,714 | 4,059 |
| 利息及び配当金の受取額 | 142 | 155 |
| 利息の支払額 | 192 | 216 |
| 法人税等の支払額 | 598 | 587 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,066 | 3,411 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の増減額(は増加) | 41 | 867 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 1,414 | 1,596 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 32 | 34 |
| その他 | 32 | 34 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 1,372 | 798 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 286 | 340 |
| 長期借入金の返済による支出 | 1,197 | 686 |
| リース債務の返済による支出 | 590 | 652 |
| 配当金の支払額 | 332 | 332 |
| その他 | 65 | 63 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,898 | 2,075 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 72 | 89 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 866 | 627 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,912 | 11,337 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 11,779 | 11,964 |

【注記事項】

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。

本基準の適用により、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で収益を認識しています。本基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首より利益剰余金は67百万円増加しています。

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が162百万円、流動負債の「その他」が13百万円及び固定負債の「その他」が148百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|----------|-------------------------|------------------------------|
| 製品 | 2,663百万円 | 2,546百万円 |
| 仕掛品 | 1,397 | 1,349 |
| 原材料及び貯蔵品 | 8,036 | 7,716 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 13,620百万円 | 12,964百万円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 1,841 | 1,000 |
| 現金及び現金同等物 | 11,779 | 11,964 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| 2018年5月11日 取締役会 | 普通株式 | 332 | 16 | 2018年3月31日 | 2018年6月1日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2018年11月8日 取締役会 | 普通株式 | 332 | 16 | 2018年9月30日 | 2018年12月3日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年5月13日 取締役会 | 普通株式 | 332 | 16 | 2019年3月31日 | 2019年5月31日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年11月8日 取締役会 | 普通株式 | 332 | 16 | 2019年9月30日 | 2019年12月2日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-------------------|----------------------|--------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 自動車 部品関連 事業 | ワイヤー ハーネス 関連事業 | 福祉機器 関連事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 57,902 | 1,333 | 508 | 59,744 | - | 59,744 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1 | 43 | 0 | 45 | 45 | - |
| 計 | 57,903 | 1,376 | 509 | 59,789 | 45 | 59,744 |
| セグメント利益又は損失() | 1,746 | 31 | 19 | 1,695 | 6 | 1,701 |

(注)1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-------------------|----------------------|--------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 自動車 部品関連 事業 | ワイヤー ハーネス 関連事業 | 福祉機器 関連事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 54,486 | 1,377 | 523 | 56,387 | - | 56,387 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 0 | 32 | 0 | 32 | 32 | - |
| 計 | 54,486 | 1,409 | 523 | 56,420 | 32 | 56,387 |
| セグメント利益又は損失() | 1,401 | 12 | 6 | 1,381 | 6 | 1,388 |

(注)1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|------------------------------|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益 | 53円96銭 | 39円23銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円) | 1,122 | 815 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円) | 1,122 | 815 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 20,793 | 20,799 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- 1 中間配当金の総額 332,989千円
- 2 1株当たり中間配当額 16円
- 3 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 2019年12月2日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月11日

株式会社今仙電機製作所

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 福 井 淳 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 澤 田 吉 孝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社今仙電機製作所の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社今仙電機製作所及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。